明日の笑顔を 共に創る

株式会社
セブン-イレブン・ジャパン

岩手県内学校関係者各位

セブン-イレブンの出張授業に関するご案内

2025年3月～

セブン-イレブン・ジャパン　オペレーションサポート部　地域共生東北ゾーン

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

セブンイレブンの出張授業について

（株）セブン-イレブン・ジャパン（以下セブン-イレブン）では、全国各地で学校や行政・教育委員会様と連携し「出張授業」「職場体験」等のご要望に応じて出張授業を実施しております
（21年度～24年度までで全国で約550校で実施、福島県を除く東北では約110校の実施）

・内容：次ページ移行にて主なプログラムを説明
・期間：通年で実施致しております
・授業プログラム：推奨対象学年は、あくまで目安です

授業プログラム		備考	推奨の対象学年						
			小学生						中学生
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
1、	防犯拠点としての駆込み訓練	警察と連携	●	●					
2、	SDG’s での企業としての取組み	簡易グループワーク		●	●	●	●	●	
3、	情報活用+おにぎり模擬発注体験	グループワーク					●	●	●
4、	キャリア教育（本部社員の仕事）							●	●
5、	出店の考え方+模擬出店戦略経験	グループワーク						●	●

・その他：少人数/大人数どちらも対応可能です
派遣費用や交通費等は弊社で賄うため、実施にあたり費用は一切かかりません（無料）

今後も未来世代との交流に力を入れ、キャリア教育支援やセブン-イレブンの環境活動紹介等、地域貢献への一助を幅広く進めたく、授業の計画等ございましたら、是非ご連絡を頂きたく宜しくお願い致します

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

授業での資料一部抜粋❶（情報活用産業+おにぎり模擬発注）

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

▼座学の流れ

授業後半のグループワークに繋げるために、情報の活用の仕方や発注業務に繋げるための一連の考え方や行為を前半で説明

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

グループワーク（おにぎり模擬発注）

▼授業後半プログラム（お題）

明日のおにぎりの発注数を考えてみよう

＊立地

・大きい道路に面した店舗
・近隣に小学校や幼稚園
・周りは家族向けマンションが多い
・休日は来店客が増加

＊天気予報

日付	今日(金)		明日(土)	
時間	12	0	12	(
降水確率(%)	0		30	
不快指数	70		74	
気温(℃)	25 / 5		30 / 10	

・前日から気温が5℃上がる予報
・朝から快晴、午後は曇

＊地域の情報

・小学校で運動会
（全校生徒数は350名）
・幼稚園でお遊戯会
（園児数は30名）
・3連休の初日

＊過去の販売状況

・おにぎり全体で、平日は150個、休日200個を平均で販売
・人気商品は
ツナマヨ、　鮭、梅

お題

・皆さんはおにぎりの発注担当者です、おにぎり各単品とトータル発注数を決めましょう
・また、その発注数にした理由も考えてください
・各グループごとに考え、話し合って決めましょう。時間は15分です
・各グループで代表1人が発表をお願いします。発表時間は１人2分です

・4～5名で1グループ、おにぎりの発注数と理由を考えてもらい、代表1名が全員の前で発表
・Mgr、社員、加盟店オーナーが各グループにフォローで付き、ディスカッションが進まないときに考え方やヒントをアドバイス
・クイズを含む前半講義で約20分、後半のグループワークで15～20分、発表が20分～25分、合計約1時間の授業（短縮可能）

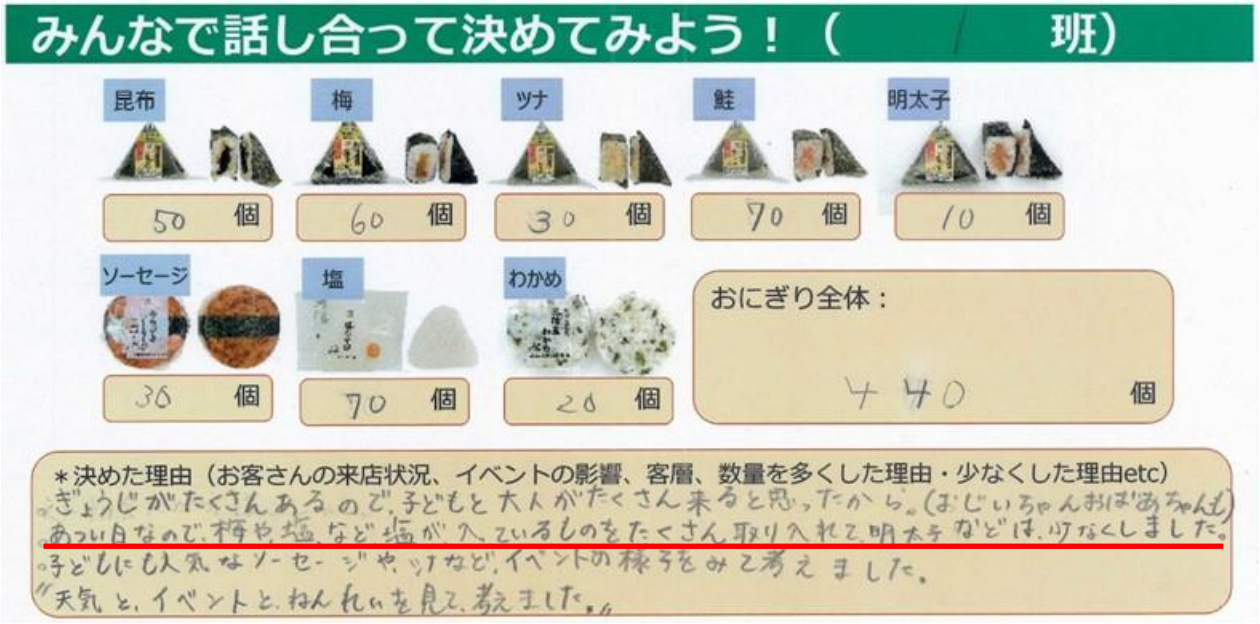
発注数は重視せず、何故その発注数になったのかの思考プロセスや根拠を子供たちが自分の言葉でアウトプットできるようにフォロー

明日の笑顔を 共に創る

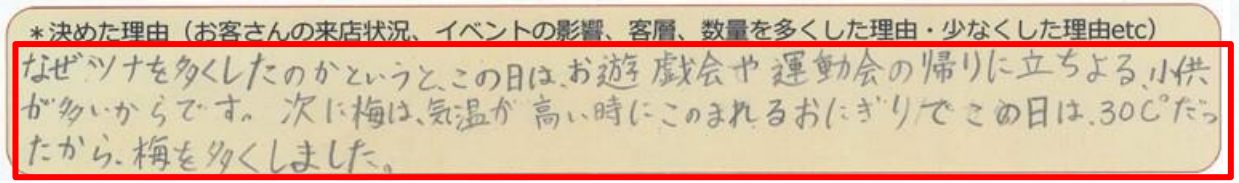
© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

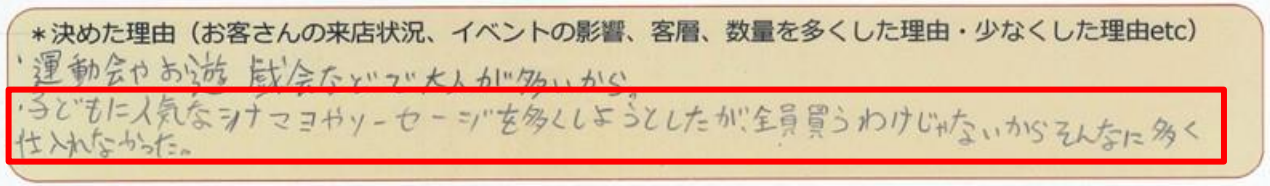
実際に子供たちが作成したグループワークメモ

▼子供たちが決めた発注数と理由（一部抜粋）



＊理由のみ掲載





増量のワークメモだけでなく、理由付けをハッキリさせ減量したものや絞込みを行ったものまで、様々なメモが発表されてます

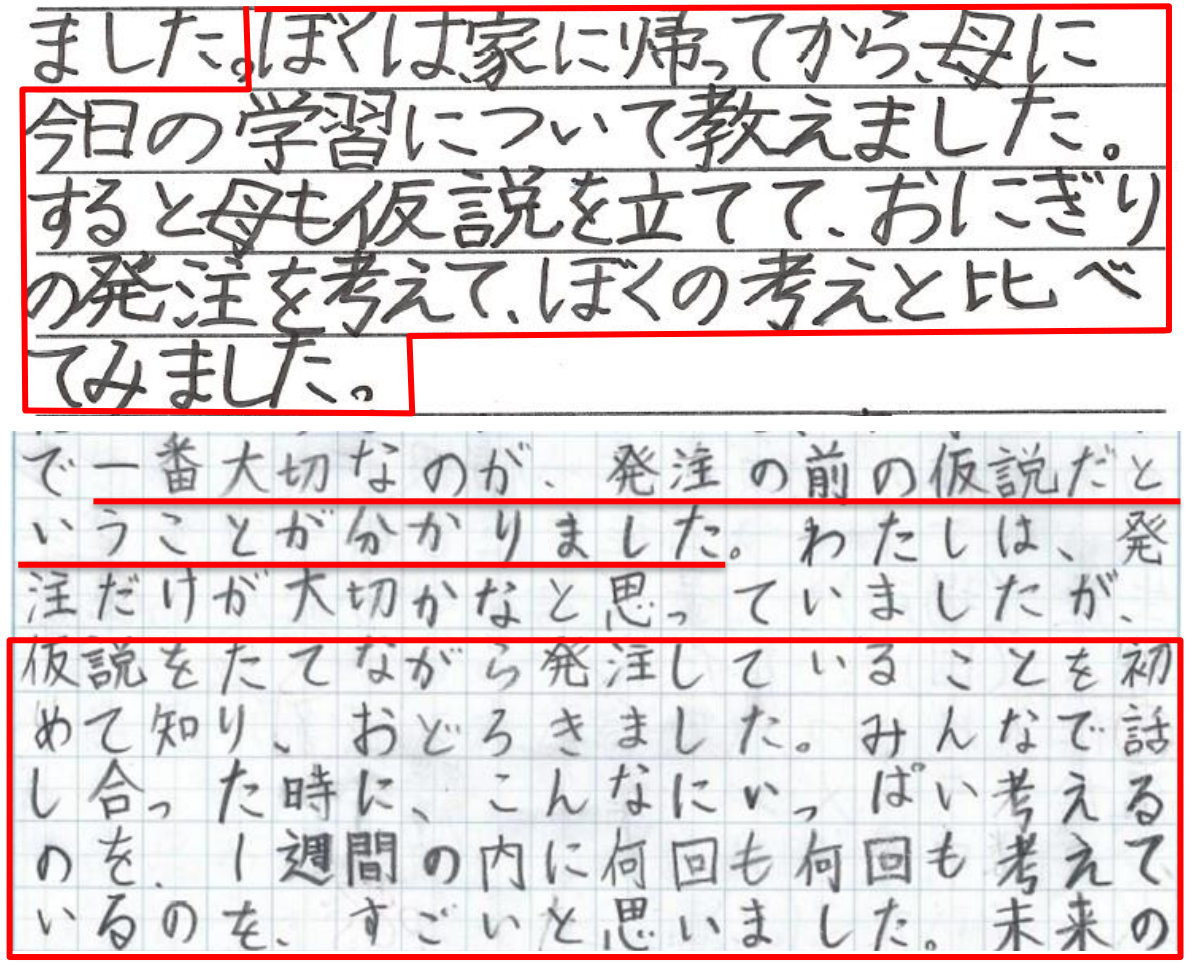
明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

授業（情報活用産業）を受けた子供達や関係者の感想抜粋

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

▼子供たちの感想（抜粋）



ました。ぼくは家に帰ってから母に今日の学習について教えました。すると母も仮説を立てて、おにぎりの発注を考えて、ぼくの考えと比べてみました。

で一番大切なのが、発注の前の仮説だということが分かりました。わたしは、発注だけが大切かなと思っていましたが、仮説をたてながら発注していることを初めて知り、おどろきました。みんなで話し合った時に、こんなにいっぱい考えるのを、1週間の内に何回も何回も考えているのを、すごいと思いました。未来の

▼関係者の感想（抜粋）

最初のクイズで児童の心を掴んでから授業に入り、全ての児童が集中して高揚している様子を見て、大成功だと確信しました。集中力が切れることなく、聞く体制になっているのは、これまでの民間企業の授業でも見たことが無い。グループワークで輪の中にスタッフの方々が入られたり、素晴らしい取組みです

〔八戸教育委員会　職員〕

社会科で学習したことが身の回りのお店で実際に使われている事を知ることができるとても貴重な体験となりました。普段何気なく利用してる店の工夫を知り、見る視点も変わると思います

〔青森市内小学校　担任先生〕

より実践的で、何より児童達が心底楽しんで話し合っているのが象徴的でした。店舗の方にもフォロー頂いて、児童も最高の思い出になったと思います

〔金ヶ崎町内小学校　校長先生〕

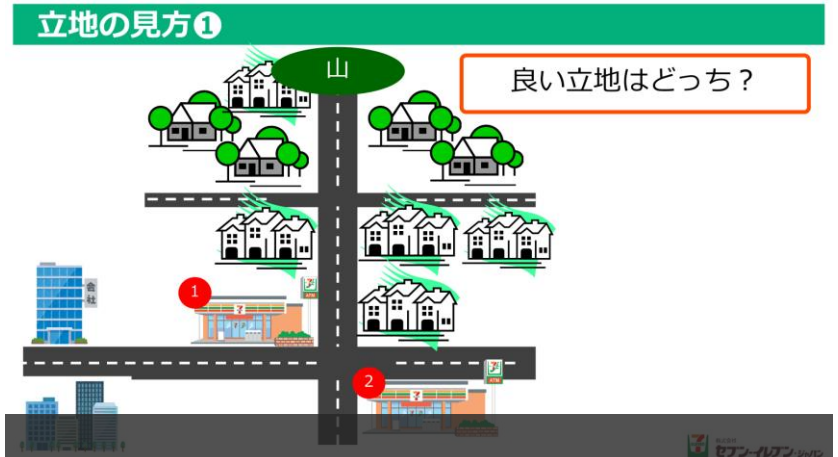
学んだことから与えられた課題に対して真剣に考え協議し、子供たちの洞察力育成の一助に繋がる

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

授業での資料一部抜粋❷（街づくり　出店のお仕事）

マーケットリサーチのやり方



立地についての考え方

＜前半は座学＞

・出店に携わる社員が、どんなことを考え
　注意して進めているのか

・どんなことを調べているのか

実際の地図を使って候補地選定

実際に生徒が作成したワークシート

＜後半はグループワーク＞

・座学で学んだことを実践
　ディスカッションしながら候補地を選定

・選んだ根拠を理由欄に記載し発表

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

授業（出店のお仕事）を受けた子供達の感想抜粋

ことができました。その他にも、班で話し合いをして、どんなところに店を建てたらいいのかを考えて、店が建っている場所を意識して考えたことがなかったので、どんな場所に建てているのか知ることができたし、とても楽しかったです。

学習を通して、これから、セブンイレブンのお店が建っているところなどを意識していきたいし、セブンイレブンの仕事についてもっと調べていきたいです。

最後に、セブンイレブンのお店をどこに建てるか考えて、私は、人通りが多くて、駐車場が広い②を選びました。セブンイレブンの方々や、班の人の意見を聞いて考えるのが、とても楽しかったです。

セブンイレブンの方々の話を聞いて、こういう仕事についてみたいと思いました。

学習を通して学んだことをいかしてセブンイレブンをなぜここに建てたのか考察していきたいです。本当にありがとうございました。

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

授業での資料一部抜粋❸（キャリア教育　本部社員の仕事）

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

取組みの歴史、時代の変化に合せた商品やサービスの開発

現在～未来に向けてセブンイレブンの考え方やビジョン

持続可能な社会に向けた環境宣言とSDG’ｓでの取組み紹介

会社の仕組みや業務内容、フランチャイズチェーンの仕組み

加盟店との関係構築のやり方
現場社員の働き方

商品開発の仕組み、お取引先との関わり方や考え方

前半で会社の歴史や考え方、後半に社員の業務を説明

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

授業（キャリア教育）を受けた子供達や関係者の感想抜粋

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

日々、何気なく行き、買い物しているセブンイレブンの店員のお客様への接客を振り返ってみると、いつも笑顔でスピーディーに行っており、「明日の笑顔を共に創る」という目標を達成しようと努力していることが分かり、改めてすばらしいなと感じさせられました。今後、またセブンイレブンに行く機会があったら「てまんどり」を意識して商品をとりたいと思います。今回は本当にありがとうございました

たくさん協力しようと思った。今日の講話では、働くことというのは、ただ仕事をしてお金をもらうことではなくて、その中で社会全体の問題に対してこうしたり、お客さんのことをちゃんと考えることも働くことのうちだと学んだ。

SDGｓの取組みや社員の考え方・仕事の仕方とか歴史とか、普段では絶対に知り得ない事なので子供達は凄くタメになったと思います。
しかも懇切丁寧で実践的に教えて頂き、セブンさんの真剣さが伝わりました

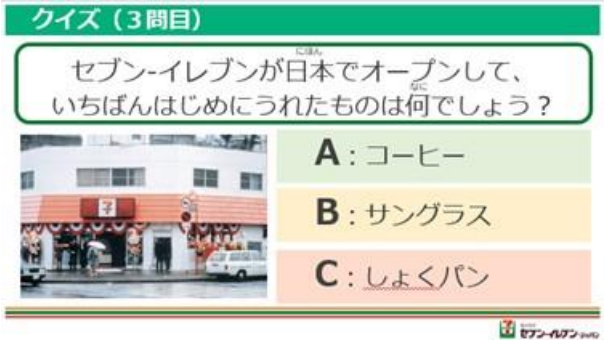
〔遠野市 校長先生〕

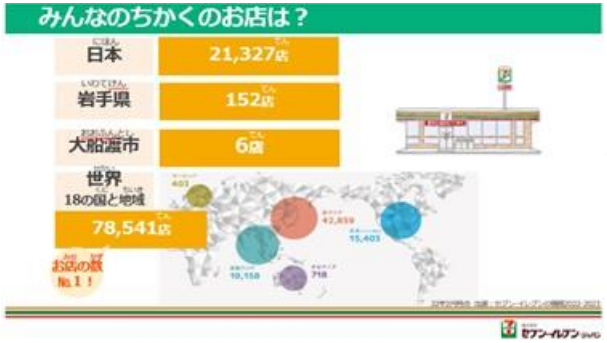
明日の笑顔を 共に創る

その他授業プログラム資料一部抜粋❹と授業の状況

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

セブン-イレブンクイズ





ＳＤＧｓ

グループワーク状況（ホール）

グループワーク状況（教室）

発注数と理由を全員へ発表

他授業の座学状況

低学年向けの駆込み訓練

授業の冒頭にクイズの出題

弊社連絡先と申込み方法

・問い合わせ先

〒983-0852　宮城県仙台市宮城野区榴岡5-1-35三共仙台東ビル7F　　TEL　022-296-7311

㈱セブン-イレブン・ジャパン仙台地区事務所　OPサポート部　地域共生（東北）　山田宛

・申込み方法

別添の申し込み用紙を記載の上、下記アドレスにメールにて送付頂くかＦＡＸで送付頂ければこちらから連絡を致します。訪問する日時をご相談させて頂きます。

尚、申し込みを頂いた日から授業実施日まで、講師のスケジュール調整等で1カ月近くの期間が必要となる場合がございますので、ご理解くださいますようお願い致します。

（メール送付先）

㈱セブン-イレブン・ジャパン仙台地区事務所　OPサポート部　地域共生（東北）　山田宛

Mail：yamada-ryousuke@sej.7andi.co.jp

（FAXの場合）

㈱セブン-イレブン・ジャパン仙台地区事務所　OPサポート部　地域共生（東北）　山田宛

022-296-7322　（FAXの場合は見落とし防止の為、併せて電話での連絡もお願い致します、☎022-296-7311）

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

明日の笑顔を 共に創る

（参考）24年度　北東北での実施学校とプログラム

青森県			
自治体	学校	学年	内容
弘前市	弘前大附属小学校	複学年	情報活用産業
八戸市	下長小学校	5年	情報活用産業
八戸市	桔梗野小学校	5年	情報活用産業、SDGｓ
八戸市	吹上小学校	5年	情報活用産業
八戸市	八戸小学校	5年	情報活用産業
八戸市	高館小学校	5年	情報活用産業
青森市	浪岡北小学校	5年	情報活用産業
青森市	戸山中学校	2年	キャリア教育+情報活用
青森市	三内小学校	5年	情報活用産業
青森市	高田小学校	3･4年	プラ対策、食ロス削減
青森市	横内中学校	2年	情報活用産業

岩手県			
自治体	学校	学年	内容
盛岡市	厨川小学校	4年	プラ対策、食ロス削減
盛岡市	松園小学校	5年	情報活用産業
盛岡市		6年	キャリア教育
盛岡市	松園中学校	2年	キャリア教育
盛岡市	城南小学校	5年	情報活用産業
盛岡市	中野小学校	6年	キャリア教育
金ヶ崎町	永岡小学校	5年	情報活用産業
金ヶ崎町		6年	出店戦略
金ヶ崎町	第一小学校	5年	情報活用産業
北上市	東陵中学校	2年	キャリア教育+情報活用
花巻市	八重畑小学校	5年	情報活用産業
花巻市		6年	出店戦略

秋田県			
自治体	学校	学年	内容
大仙市	大曲西中学校	3年	キャリア教育
秋田市	外旭川小学校	6年	食育
秋田市	戸島小学校	6年	キャリア教育
秋田市	御所野小学校	6年	キャリア教育
秋田市	旭北小学校	5年	情報活用産業
秋田市	大住小学校	3年	CVSが支持される理由
秋田市	栗田支援学校	2年	食育
大館市	扇田小学校	5年	情報活用産業
横手市	横手北中学校	2年	キャリア教育

・県別開催数　青森県：11回、岩手県：12回、秋田県：9回

・実施プログラム
（カッコ内：構成比）

情報を活用した産業：18回（56.3%）
キャリア教育　：7回（21.9%）
SDGｓ・その他　：5回（15.6%）
出店戦略　：2回（6.3%）

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.

（参考）25年度　北東北での実施予定学校とプログラム（～5月末受付分）

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン

青森県			
自治体	学校	学年	内容
青森市	高田小学校	5年	情報活用産業
青森市	佃小学校	5年	情報活用産業
青森市	造道小学校	5年	情報活用産業
十和田市	沢田小学校	3･4年	SDG’s
十和田市	西小学校	5年	情報活用産業
弘前市	市立中央公民館	複学年	情報活用産業
つがる市	穂波小学校	4年	情報活用産業
つがる市	森田小学校	5･6年	情報活用産業

岩手県			
自治体	学校	学年	内容
盛岡市	中野小学校	6年	キャリア教育
盛岡市	黒石野中北杜分校	複学年	キャリア教育
盛岡市	北厨川小学校	5年	情報活用産業
盛岡市	永井小学校	5年	情報活用産業
金ヶ崎町	西小学校	5年	SDG’s
金ヶ崎町	永岡小学校	5年	情報活用産業
金ヶ崎町		6年	街づくり戦略
花巻市	八重畑小学校	5年	情報活用産業
花巻市		6年	街づくり戦略
花巻市	笹間第一小学校	5年	SDG’s
花巻市	若葉小学校	5年	情報活用産業
奥州市	佐倉河小学校	5年	情報活用産業
遠野市	附馬牛小学校	5･6年	情報活用産業

秋田県			
自治体	学校	学年	内容
秋田市	外旭川小学校	6年	キャリア教育
秋田市	四ツ小屋小学校	5年	情報活用産業
秋田市	河辺小学校	5年	情報活用産業
横手市	横手南中学校	複学年	キャリア教育
大館市	西舘小学校	5年	情報活用産業

・県別開催予定数　青森県：8回、岩手県：13回、秋田県：5回

・実施希望プログラム
（カッコ内：構成比）

情報を活用した産業：17回（65.4%）
キャリア教育　：4回（15.4%）
SDG s ・その他　：3回（11.5%）
出店戦略　：2回（7.7%）

明日の笑顔を 共に創る

© SEVEN-ELEVEN JAPAN CO.,LTD.